

これから亀龍会空手道部の黄金期第II章の始まりです

市本君、中村君 これからも亀龍会空手道部を引っ張って行ってください。



和泉監督の胴上げ



亀龍会空手道部 12年ぶり5回目の日本一！ 男子団体組手 優勝 男子個人形 優勝

当日試合会場に職員と選手家族50名近くの方の応援をいただきました。
応援の力の大きさに支えられた優勝と思っております。



亀龍会グループ 代表
亀龍会空手道部総監督
和泉 雅一

今、私はこの上ない喜びで、胸がいっぱいです。そして、皆様に素晴らしい報告があります。我が亀龍会空手道部は、9月14日(日)に、東京日本武道館で行われた全日本実業団空手道選手権大会で団体組手は12年ぶり5回目の優勝。

また、男子個人形は舟田葵君が優勝しました。私は、本当に嬉しくて嬉しくて、この気持ちを皆様にいかに伝えられるか、出来るだけ書いてみます。

男子団体組手

団体組手は、西日本・東日本の予選を勝ち抜いた各8チームと自衛隊優勝チーム計17チームで全日本大会が行われました。

1回戦

亀龍会(青) 3-0 カンエジエントス(東日本)

先鋒	金本	対	山口	6-1	勝
次鋒	谷口	対	宮本	3-0	勝
中堅	山内	対	住田	8-0	勝



先鋒 山口 対 金本

2回戦

亀龍会(青) 3-0 塩義東京出張所(東日本)

先鋒	金本	対	新田	9-1	勝
次鋒	中村	対	片岡	7-5	勝
中堅	山内	対	石山	2-0	勝



次鋒 片岡 対 中村

準決勝の相手は、西濃運輸(西日本) このチームは昨年の優勝チームで、メンバーのうち、優勝者、3位、ベスト8の3選手を擁しているチームで、今回一番の山だと思っていましたが、3:0で勝利し、決勝戦へと駒を進める。

準決勝

亀龍会(赤) 3-0 西濃運輸(西日本)

先鋒	金本	対	森	5-1	勝
次鋒	中村	対	保坂	4-3	勝
中堅	山内	対	伊東	2-1	勝

(昨年個人組手優勝者)



中堅 山内 対 伊東

決勝戦は、ファイナルで当日の最後の試合となりますので、まず先に個人の試合を報告します。

個人組手は、地区予選を勝ち抜いた71名が参加し、我チームは予選を2人(中村・山内)が突破し、出場していましたが、中村が2回戦負け、山内は初戦敗退となりました。



市本選手が我チームに入部したころの試合を観ていると、184cmの身長を活かし前拳(左手)で相手を抑え内に入らず試合をさせないし、勝っています。いつもこのような試合をするのもっと楽に試合ができるのにも思っています。彼は小学生の時、6年間毎年全国大会(全少)に出場し、3,4,6年生で3回準優勝しています。このような成績を残した選手は岡山県には他にいません。このように素晴らしい素質を持っています。あとは本人の気持ちと努力だと思っています。まだまだ、老け込む年ではありません。執着心をもって、試合に臨んでほしいと思っています。今回は市本君の出番がありませんでしたが、主将として選手のチームワークに気を配り、チームの雰囲気をつくってくれました。市本君が主将だから勝てたと思っています。チームの気配り、心配りを大事にし、2連覇3連覇を目指しこれからの亀龍会空手道部を引っ張って行ってください。

舟田君本当におめでとう。君が我チームに昨年4月に入社してから1年6ヶ月、入社前のような成績でなく精神的に大変だったと思いますが、君はそれを感じさせない態度でした。中学生からナショナルチーム入りし高校3年間チャンピオン、大学も2、3、4年(大学1年コロナで試合無し)と3年連続チャンピオンの計6年チャンピオンで、このような成績を残した選手を私は知りません。このような素晴らしい選手を我チームに迎え入れ、昨年1年私も本当にうちで良いのか悩みましたが、今年になりナショナルチームの選考会での評価が良かったと山本英雄さん(元日本代表監督)より聞き、今年は去年のような事はないと安心していました。まず西日本で優勝し、今回全日本実業団でも優勝できました。少し安心していきます。君の夢である世界チャンピオンを目指して稽古しましょう。



米山君は3年前に山本英雄さんの紹介で入社しており、国士舘大学空手道部の主将で、形の選手では初の主将を務めており、空手道でも仕事でも期待しており、入社した年に糸東流で全国優勝しました。県でも優勝しており、米山君が我がチームにいて、舟田君や大内君の2人が入社してくれました。大内君は昨年の暮れに退職し今は女優として活躍しています。今回3位になった米山君も自信になったと思います。また、若い選手のまとめ役としてこれからも期待しています。これで気持ちも変わり、ワンランク上の競技ができると思います。

木村君は今年入社しました。倉敷市玉島出身で子供の頃より知っている選手です。倉敷高校より帝京大学に進学し舟田君の1学後輩です。入社1年目より大活躍で、県大会優勝、中国大会優勝し、5月の西日本実業団選手権のラウンド3(準決勝)で舟田君と競技し、1位舟田、2位木村で舟田君は決勝進出へ、そして優勝、木村君は3位になる。今回全日本実業団ではラウンド1で8名中6位になりラウンド2へ進めなかったですが、大学卒業したばかりの年で大活躍だと思います。これからは国体(県代表)、全日本選手権(中国地区代表)として試合がありますので気持ちを切り替えて稽古をしてほしいと思います。身体をよく鍛えていて、君のソウチンは堀邦久君を連想します。



船越君は私が実業団加盟の時大変お世話になった故矢根鉄司氏のお弟子さんで谷派糸東流、形の全日本チャンピオンで9回連続優勝しています。倉敷高校時インターハイ3位を納め、プレミアリーグ(沖縄)3位にもなっています。船越君の形は手技の凄さがあります。今年は残念でしたが、気持ちの強く稽古熱心な子なのでこれからも活躍を期待しています。



山内選手は今年大学を卒業して、当グループに就職しました。現ナショナルチームの選手で、強く勝って当たり前だが、大学で活躍していても実業団1年目の壁があり、どの選手も戸惑うものである。彼も同じかなと思っていましたが、この大会では個人組手はダメでしたが、団体戦では見事活躍してくれました。もっともっと成長して日本を代表する選手になれると思います。是非なっしてほしいと思うその素質のある選手です。そして、この大会一週間前にオーストラリア、ザルツブルクでシリーズAという大会があり、彼のクラスは100名ほど出場し、ほとんどが海外の選手で、身長180cm以上ある彼でも小さい方でしたが、見事準優勝しています。

彼は長崎県出身で、我チームが全国優勝4連覇の頃、長崎県連強化練習に招待され佐世保に指導に行きましたが、彼は小学生でこの練習会に参加していたそうです。また、私の事を覚えているそうです。そして、彼のおじさん(宮川源太選手)は、茅原史穂君と同級生で、2人とも長崎国体に出場し、茅原君は故郷に錦を飾る気持ちで出場しましたが敗退し、宮川選手が優勝しました。また、36歳での優勝は最高齢でした。今年も44歳で長崎代表で国体に出場します。そして、山内選手は10月にマレーシアの大会にも出場します。活躍を期待したいと思います。

谷口選手は、昨年入社しました。彼も浪速高校・近畿大学工学部で活躍した選手ですが、昨年1年間は思うような成績ではありませんでした。中学生時代は世界チャンピオン、高校時代は世界とアジアの3位を取っています。和歌山県では、ここ数年チャンピオンで国体に出場しています。今年も出場します。強い選手ですが、今一つ気持ちの問題かなと思っていましたが、当日試合会場にお母さんと新妻の乃亜さんが来てくれました。私は、今日は谷口の日だなと予感しました。見事、私の予感的中し、第一試合谷口の活躍で我チームが波に乗り、決勝戦の劇的な逆転上段蹴りで優勝できました。今季これから国体、近県、日本選手権と活躍が期待できます。



中村選手は、今は、当空手道部で活躍していますが、大学卒業当時広島会社へ就職が決まっていた。私は岡山県の選手でなぜ他県へ行くのかと思い、彼を呼んで私と吉田とで説得しました。岡山にとって損失であり、当空手道部でもっと活躍してほしいと本気で話をし我チームに入ってくれました。彼は、国体に過去6回出場し、2023年は全日本体重別選手権大会にも実業団代表として出場しています。中村君は山陽高校出身ではなく大学も倉敷芸術科学大卒と空手のエリートではありませんが、国体に6回も出場しているのは本当に努力の人だからです。今それが実を結んでいるのだと思います。これからも地道に努力、稽古をして全国大会に出場して欲しいと思っています。今は、職場でも大活躍してくれています。今後、空手道も仕事も両立させ、亀龍会の幹部として活躍を願っています。

矢吹選手は独特の試合勘のある選手で確実に勝てる選手です。彼は、高校は山陽高校空手道部でその時の印象は非常に素質のある選手で強くなると感じていました。大学は空手道の強くない環太平洋大学に行きましたが、空手道の感は残っていました。これから精進するとどんどん強くなる選手と思っています。今回は出番がありませんでしたが、勝ちが計算できる選手です。今後期待しています。



男子個人形

形競技は地区予選を勝ち抜いた29名が参加し、我チームは西日本で4名出場。優勝1名、3位1名、ベスト8 1名、ベスト16 1名で、全員本大会へ出場しています。4グループに1名ずつ出場し、ラウンド1で4人勝ち抜き、ラウンド2で4名勝ち上がります。

グループ1が船越、グループ2が木村、グループ3が米山、グループ4が舟田と分かれ、それぞれのグループで4名がラウンド2へ進みますが、木村君が4位と同点なるも内容差で負け、3名がラウンド2へ進み、グループ1と2の4名ずつ8名で競技し、上位4名がラウンド3へ進みます。船越君は6位となり敗退、グループ3と4の4名ずつ8名で競技し、2位 舟田、3位 米山でラウンド3へ、各組4名ずつ競技し、1位は決勝戦へ、2位は3位になります。1位 舟田、2位 米山で、舟田君は決勝へ。本龍二君と戦い、見事勝利し、優勝しました。本当に見事です。

舟田君は西日本でも優勝しており、かなりの確率で優勝と思っていましたが、本当によくやったと思います。また、米山君の3位は素晴らしい3位だと思います。船越君、木村君ともよくやったと思います。なんとといっても、予選を勝ち抜いて本大会に4人出場というのが素晴らしいと思います。



舟田 葵

米山 悠介



舟田 葵



米山 悠介



木村 和生

舟田君の優勝が決まり、いよいよ団体戦の決勝戦です。くしくも我チームが4連覇した相手が豊鉄筋で、今回も同じ相手とはなにかの因縁を感じます。各種目の決勝戦も終わり、いよいよ今回の大会最後の試合です。

男子団体組手<決勝>

決勝

亀龍会(青) **4-1** 豊鉄筋(東日本)

先鋒	金本	対	五十嵐	4-1	勝
次鋒	中村	対	長沼	1-3	負
中堅	山内	対	三浦	7-0	勝
副将	谷口	対	田中	3-2	勝

先鋒 金本 今日の立役者は健在で 五十嵐に 4:1で勝利
 次鋒 中村 善戦するも 長沼に 1:3で負け
 中堅 山内 この試合も動きよく 三浦に7:0で勝ち
 副将 谷口 残り3秒まで0:2で負けており、残り3秒で谷口の上段廻し蹴りが決まり、この時点で3:2に逆転し、そのまま終了となり、田中に3:2で勝利。
 そして、5回目の優勝が決まりました。



先鋒 五十嵐 対 金本



次鋒 長沼 対 中村



中堅 三浦 対 山内



副将 田中 対 谷口

優勝 おめでとう！！



舟田君の優勝はあるかなと思っていましたが、団体組手は本当に素晴らしい。よく結果を出してくれたと思います。この試合には来られなかった吉田監督、小野、水杉を始め、選手間のチームワークもよかったです。山内君が入ったことで、今まで金本君に負担をかけていた分、2馬力となり、中村、谷口もいい方向に行ったと思います。特に谷口君は、結婚相手の力が大きかったと思っています。市本、矢吹君、今回は出番がなくて、ごめん。次は必ず働いてもらいます。倉敷で大きくない企業でこんな大きな事をさせていただいて、本当に本当にうちの選手は素晴らしい。

総監督 和泉雅一より選手へ

金本選手は本当に強く、確実に勝負できる選手。先鋒向きで、必ず勝つことでチームに勢いをつけてくれる。彼は子供の頃、和道会の選手で姉と2人活躍していました。倉敷高校時、特養くらしきの亀龍会空手道部に出稽古に来ていました。その時からの付き合いで、実業団の試合は亀龍会より出場するようになりました。彼の強みは身長があること、突きも蹴りも使えること。本当に年々強くなっている、心技体の整った選手である。仕事もお父さんと同じ仕事をして別会社を作り、若い社長をしている。本当に精神的にも成長している選手です。お母さん、お姉さんも一家で応援に来てくれました。

